

叡知恵

～ えいちけい ～

No.
59
2017 Autumn



理事長の挨拶・ラジオ放送

【第4回】ランプちゃんが行く! P2

3年目を迎えて・地域貢献事業 P3

特集

ご寄付・ご寄贈 P4・P5 P6

読者参加コーナー「わたしの夢」 P8

WEBサイト
随時更新中!!

「施設日記」も
ぜひご覧ください!

叡知恵とは

ヘレンケラー女史のイニシャル文字「H.K.」の象徴。
『叡知』は、深遠な道理を悟る才知とすぐれた知性を言い、
『恵』とは、天地のいつくしみです。
『叡知恵』とは、森羅万象の情けと、人間の知性の融合という意味であります。

バーコードリーダーで読み取り
モバイルサイトにアクセス!
<http://www.helenkeller.jp/>

日本ヘレンケラー財団 検索



「人材確保」と「人財育成」

理事長 西川 佳夫

今年、『特別養護老人ホームミネルヴァあべの』が誕生した記念すべき年でもあり、また、『福祉型障害児入所施設平和寮』が還暦を迎えた年でもあります。更に建設を巡って地域住民の方々と長年にわたって採めた『障害者支援施設アテナ平和』も早十年の歳月が過ぎ去りました。それも偏に皆様方の努力の賜物と感謝しています。

法人としては着実に成長してきており、幼児からお年寄りまで幅広く充実した支援ができるような体制が整いつつあります。しかしながら支援を支える福祉の人材不足が大きな課題であり、当法人だけではなく、福祉業界全体的に職員の確保が更に厳しくなっています。最近「介護倒産」という言葉をよく耳にしますが、このまま手を拱いては他人事と言っておれなくなりません。いかにしてよい人材を確保するか、そしてその人材を法人の人財としていかに育てていくかが今後の飛躍の大きな鍵となっています。

介護関係に関して言えば、平成25年度の介護従事者は約171万人、高齢化の進行等に伴い、平成37年度には約250万人の介護従事者が必要となってくると予想され、益々職員確保が難しくなっています。一つの方策として今年の9月1日から外国の方が介護現場で就労できるビザ（在留資格）の運用がスタートしており、今後は外国人労働者の受け入れも視野に入れていかなければ、人材確保、人財育成を図っていかねばなりません。

ラジオで繋がる出会いがある!!

法人では、「FMはしもと(株) 81.6MHz」さんのご協力をいただき、ラジオでの施設紹介や福祉の仕事の魅力、そして求人情報等のお知らせを8月4日(金)から12週にわたって放送させていただきます!

法人本部を含めた12ヶ所の施設毎に収録を行い、編集を終えた施設分より放送するという流れです。各施設の代表者がお話させていただいたのですが、「大丈夫かな...」「しゃべられへんわ...」等といった言葉も聞かれ、毎回収録前は大きな緊張感に包まれました。しかし収録を終えると、達成感や開放感を感じることができ、「楽しかったー!」「またやりたい!」等といった嬉しい感想も聞かれました。

初めての取り組みでしたが、楽しみながら前向きに取り組むことが出来、また改めて自身の所属している事業所や業務を客観視することで、初心に立ち戻ることが出来たりなど、放送をする側としても得るものは大きかったと感じています。

本日に様々な情報がちりばめられた内容となりました。福祉の仕事に興味のある方はもちろん、全く興味の無い方でも一度聴いていただくと、福祉の仕事や障がいについてポジティブな印象を持っていただけではないでしょうか。

ご協力いただいた代表の向井様を始めとするFMはしもと(株)の皆様、本当にありがとうございました。



第4回

ランプちゃんが行く!

7月28日に行われた法人前期交流会のゲームのコーナーに、特別ゲストとして来てくれたランプちゃん。登場するともにも大きな拍手で、会場が割れんばかりの歓声に包まれました。さすがランプちゃんです。

ゲームの内容は「ランプちゃんと以心伝心」。赤いものといえば...おでんの具といえば...という質問にテーブルごとに相談して答えを決め、ランプちゃんと答えが合えば正解。照れ屋さんなランプちゃんが何を答えるのか皆さんで相談しながら考えました。

皆さんから「ランプちゃん」と呼ばれると、笑顔で応じ会場に大きな灯をともししてくれました。

デザートは杏仁豆腐が一人ひとつだと知り、少しがっかりしていたスイーツ大好き?ランプちゃんでした。



奏でるメロディ・リズムロード♪

障害者支援施設 アテナ平和

『生活介護事業所メロディ』・『単独型短期入所事業所リズム』は平成27年4月に阿倍野区王子町で開所し、今年で3年目になりました。

開所当初は近隣の皆様から理解を得られなかったこともありましたが、現在は良好

な近所付き合いができています。また、たくさんの方の利用者さんに必要とされる事業所に発展致しました。特に『リズム』においては、もうすぐ登録利用者さんが100名に到達する勢いです。定員の6部屋が予約の段階で埋まり、利用をお断りしなければならぬこともあります。

もちろん、私たちの仕事は数字が全てを表すわけではありません。2年の実績の中にはトラブルや苦情もありましたが、サービスに伴う「質」を意識しながら、スタッフ一同3年目の業務に励んでいます。



3年間を振り返って

障害者支援施設 ーし伯太

開所して3年目を迎へ、利用者さんにとって通所することは生活習慣として身に付いている様子で、毎日迎える時間には、玄関前にほとんど全員が揃っている状況です。

活動の中心である外注作業は、開所した当時よりも正確さ、速さ、積極性、使命感においてレベルアップしています。共同作業によって利用者さん同士の競争心や協調性が育まれていることを実感しています。

また作業以外にも、散歩や調理実習、レクリエーション(カラオケや季節行事等)自由外出を活動に取り入れることで、通所する楽しさを感じて頂けるようになっています。朝礼の司会を利用者さんが日替わりで担当しており、毎日色々な意見が出て活発になり、今まで消極的であった利用者さんも意見を言われるようになりました。

これからも利用者さんから通所したいと思ってくれているように、サービスの向上に努めていきます。



地域貢献事業 ふれあい食堂

ふれあい食堂は和泉市にあります『太平』、『I.L.伯太』、『じよいふるはかた』の3つの施設で地域貢献事業の一環として行なっています。伯太府営住宅の自治会長さんと話し合いを行い、2ヶ月に1度第3土曜日の12時から開催しています。来て下さる方はほぼ高齢者ですが、7月に開催した際、飛び入りで赤ちゃんのいるご家族が食べに来て下さり、少しずつですがふれあい食堂が周知されてきたように思います。

スタート当初は棟ごとに2班に分け、毎月実施していたこともあり、12名程しか集まりませんでした。全棟まとめて実施することで沢山の方に来ていただけました。賑やかになることで、「何やってるのだろう」と、沢山の人にも知ってもらえればいいなと思います。

メニューに関しては、高齢者の方が多いため、食べやすいものを考えています。また、集会所のキッチンではあまり手の込んだ料理は難しいので、丼やカレーなど主食と主菜が一緒になったようなメニューをメインにすることが多いです。副菜として野菜料理、汁物、デザートと決めていきます。今までに、豚丼、ハンバーグカレー、鶏そぼろ丼、ちらし煮などを提供してきましたが、メニューの説明の時に拍手がおこったのは、ちらし煮です。食べたくても、自宅

ではなかなか作らないという料理が人気で、カレーも人気でした。

今はまだ食事の提供だけですが、今後はその場が皆さんの【ふれあい】の場になるように、内容の充実を図っていきます。



夏季キャンプ

福祉型障害児入所施設 平和寮

『児童平和寮』では長い夏休み、子ども達が一番楽しみにしているのが「夏季キャンプ」です。今年も子ども達が楽しめるように、それぞれに合った内容で、神戸・淡路島・和歌山・貝塚の4グループに分かれて計画しました。

神戸班は、一泊二日で神戸しあわせの村に泊まりました。神戸どうぶつ王国に行き、動物に直接触れ合う経験ができ、生き物の可愛さを感じていました。淡路島班は、うずしおクルーズで渦潮を見に行き、淡路ワールドパークオノコロでアトラクションに乗り、海釣り公園では釣りを楽しみ、夏旅行をおもいっきり満喫しました。

和歌山班は、和歌山マリーナシティで打ち上げ花火を見ました。初めて見た子ども達もおり、最初は音に驚き怖がっていましたが、慣れてくると花火を見上げ「きれい」と目を輝かせていました。貝塚班は、海洋センターで泊まりました。グループに分かれ、虫取り、磯観察、キャンプファイヤー、飯盒炊飯を行ない、友達と協力することの大切さを感じていました。

それぞれのグループが、普段出来ない事をたくさん経験することができた楽しいキャンプになりました。職員も、子ども達のキラキラした笑顔をたくさん見ることができ、幸せな時間を過ごすことができました。さあ、来年はどこに行こうかなあ。



大人気イベントの一泊旅行

地域生活支援センター 各駅停車

『シルフ』では年に1回、一泊旅行を実施しています。毎年くり返される同じ言葉・その言葉をきっかけに熱が伝達し、止まることなく広がっていく。「今年の旅行どこいく？」から旅行が始まっています。以前は生活介護と就労継続支援B型が合同で行なっていました。利用者さんの安全を確保するため、現在はそれぞれ分かれて行なっています。

何ヶ月も前から旅行の話をされ、利用者さんの希望は、毎年「ガラオケ」と外せないイベントです。当日は、名所を観光したり、宴会場にとどまらず車内でもカラオケやゲームで盛り上がり、踊る方や熱唱される方など、それぞれ楽しまれています。

就労継続支援B型では、公共交通機関を利用し、旅行を通じての社会経験も積み重ねています。安全面の確保や費用の面など毎年課題はありますが、今後も利用者さんに喜んでいただけるように取り組んでいきたいと思っています。

安全面の確保や費用の面など毎年課題はありますが、今後も利用者さんに喜んでいただけるように取り組んでいきたいと思っています。



日中のヘアピン作業

救護施設 平和寮

『救護施設平和寮』では、日中活動や社会での仕事に繋げるためにヘアピン作業を行い、場所は平和寮から徒歩10分程度です。これは職任分離を考慮しており、社会での生活に近づける為に実施しています。作業内容はグラム計り・グラム計りの検品・テープ貼り・最終検品があり、利用者さん個人に合わせた内容で行なっています。こうすることで、作業を行なう利用者さんが個々のレベルに応じて作業を行なうことを可能にしています。

全行程を行なう利用者さんもおられ、地域での仕事に繋げるきっかけを作っています。その利用者さん達はペアになり、検品をお互いで行なって頂き、人と関わる仕事としても大切にしています。

また、作業工賃もそれぞれの工程に分けて単価を決めており、おおよその平均時間比率で設定しています。各々の作業範囲での支払いを可能にし、個々の仕事量に応じた作業工賃を実現しています。

また、作業工賃もそれぞれの工程に分けて単価を決めており、おおよその平均時間比率で設定しています。各々の作業範囲での支払いを可能にし、個々の仕事量に応じた作業工賃を実現しています。



設のしの前編

のし

のし

のし

り組みについて、2回
す。今回は大阪市内に
集します。

『ぶるうむ此花』では毎月第2金曜日に、藤澤先生と永田先生をお招きして「にこにこ体操」を行なっています。「サザエさん」や「ソーラン節」等、色々な曲に合わせて体を動かしています。一番盛り上がるのは、ペットボトルで作った手作りのマラカスを皆で振り、「六甲おろし」を熱唱するときです。最後はいつも利用者さんと支援員が一体になり、「ジエンカ」をして楽しんでいます。

利用者さんはいつも「明日、にこにこ体操やな！」と楽しみにしています。

また『工房ぶるうむ』では、お菓子づくりにも取り組んでいます。パウンドケーキは材料をムラなく混ぜるのに力がいらしますが、慣れた利用者さんは底に溜まっている薄力粉も万遍なく上手に混ぜ合わせています。プリンも温度管理と泡立てずに材料を混ぜるのが肝心で、一通りの流れも覚えて手際よく作っています。出来あがった製菓へのラッピングやシール貼りも、支援員と会話を楽しみながら、和やかに取り組んでいます。皆様も『工房ぶるうむ』のパウンドケーキとプリンを是非ともご賞味ください。



特

各施一押取り

各施設の一押しの取り分けてご紹介し
所在する6施設を特

阿倍野区

これが私の楽しみ！

特別養護老人ホーム ミネルヴァあべの



『ミネルヴァあべの』では、1階地域交流スペースでカラオケサークルを月に3回ほど行なっています。歌を歌うのが好きな方、聴くのが好きな方、また他の入居者さんと話をする方など、様々な理由で参加されています。

歌が好きなMさんはサークルには必ず参加され、今回もスタッフと一緒に歌謡曲を歌われました。隣の方も目をつぶり、Mさんの歌声に聞き入っていました。カラオケサークルが終わると皆さんスッキリとした表情で、今日の歌の感想などを話されていました。

懐かしいメロディーを聴いて昔を思い出す方、無意識に口ずさんでいる方など、普段ユニットでは見られないような表情をたくさん見せてくれます。入居者さんの様々な表情を引き出していくためにも、今後も充実した取り組みを行なっていきたいと思えます。



阿倍野区

アテナdeハロウィン

障害者支援施設 アテナ平和

『アテナ平和』の一押しの取り組みは、毎年秋に開催される「アテナdeハロウィン」です。阿倍野区役所主催の「あべのつながりフェスタ」の一環で、阿倍野区全体で地域福祉を盛り上げようといったイベントになっています。

『アテナ平和』では、ここ数年ハロウィン行事に力を入れており、「ホラーゾーン」や「写真館」「ワンダーランドゾーン」等のエリアを設けて、地域の皆様に楽しんで頂いております。どのエリアも何ヶ月も前から全部所で準備していることもあり、完成度の高い内容になっています。参加されたことがない方は、ぜひ一度足を運んでいただきたいと思えます。「ホラーゾーン」は本当に怖いです…。

『アテナ平和』では「アテナdeハロウィン」の他にも、「夏祭り」「プール開放」「アテナ寄席」等の行事に力を入れており、地域の皆様と一体となれる施設であると思えます。今後、一押しの取り組みをどんどん増やしていきたいです。



ご寄付・ご寄贈感謝申しあげます

平成 28 年 3 月～29 年 8 月末までに各施設にいただいたご寄付・ご寄贈です。

救護施設 平和寮

ナニワ6フォーラムネット 様 30,000円

福祉型障害児入所施設 平和寮

向井均 様 30,000円
 衣類
 林真子 様
 歯ブラシ
 和泉貴美香 様
 お菓子等
 岡和枝 様
 お菓子
 堀内寛立 様

太平

伯太婦人会 様 10,000円
 伯太連合校区 様 11,000円
 新城博子 様 200,000円
 信太山駐屯地 様 5,000円
 中村弘子 様 10,000円

ぶるうむ此花

U.S.Jマーチャングイズ部 様 コカ・コーラ24本
 三菱重工業株式会社 様 スプーン、フォーク
 富江節夫 様 じゃがいも5箱
 三和産業株式会社 細川和博 様 じゃがいも6箱

IL伯太

伯太町会 様 20,000円
 伯太婦人会 様 10,000円
 信太山駐屯地 様 5,000円

各駅停車

福栄商会株式会社 代表取締役 野上照善 様 500,000円
 小島勝巳 様 お菓子

たんぽぽ園

匿名 お菓子

さつき園・まつのき園

中村千草 様
 引き出し、バザー品、さをり製品、16,500円、
 さをり織り糸、毛糸類、小物製品
 さをり織り工房千草 様 2,000円
 坂口 様 柿75個
 桃田美根子 様 バザー品
 雅楽 様 きんかん
 南 様 家具、タンス
 奥田百合子 様 バザー品
 泉井 様 トイレットペーパー18ロール
 (グループホーム黒田邸)
 山口 様 きんかん
 有限会社平正繊維工業 出口正人 様 飲み物、洗剤

アテナ平和

福栄商会株式会社 代表取締役 野上照善 様 500,000円
 北原昌美 様 5,000円、カボスジュース60本
 大阪海苔協同組合 様 車いす1台
 やおや南 様 すいか4個
 淀野員代 様 フランクフルト300本
 佐竹 様 タオル

ミネルヴァあべの

株式会社榎谷設計 様 車購入費として1,500,000円
 大阪コスモスライオンズクラブ 様
 浄水器購入費として35,000円



人間としての尊厳

自己決定の尊重



社会の一員としての
自覚

生き甲斐、働き甲斐のもてる生活

《職員行動指針》

- ◎ 私たちは利用者の人権を最優先に考え、自己研鑽（スキルアップ）に励み、満足度 100% の支援を目指します。
- ◎ 私たちは常に向上心を持ち、利用者の方の立場に立って支援します。
- ◎ 私たちは変化に臆することなく、また、現状に満足することなく自らの進化に挑戦し続けます。
- ◎ 私たちは福祉のプロとして自覚し、プライドと責任を持って支援にあたります。
- ◎ 私たちは地域や行政に積極的に提言・実践を行い、地域福祉の向上に努めます。

	法人本部	事務局	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-4-27	06-6628-2229
	平和寮	救護施設	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-4-27	06-6628-6151
	平和寮	福祉型障害児入所施設	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 3-27-2	06-6621-4583
	太平	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町 3-13-68	0725-45-2760
	太平診療所	診療所	〒594-0023 和泉市伯太町 3-13-68	0725-43-9066
施設一覧	ふるうむ此花	生活介護事業所	〒554-0024 大阪市此花区島屋 3-2-32	06-6468-7898
	IL伯太	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町 3-13-57	0725-41-8191
	さつき園	多機能型事業所	〒599-0211 阪南市鳥取中 9-1	072-471-6868
	まつのき園	地域活動支援センターI型	〒599-0211 阪南市鳥取中 9-1	072-471-6863
	アテナ平和	障害者支援施設	〒545-0003 大阪市阿倍野区美章園 3-7-2	06-6629-2062
	阪南市立 たんぼぼ園	多機能型事業所	〒599-0203 阪南市黒田 468-1	072-473-2816
	各駅停車	地域生活支援センター	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 3-35-2	06-6629-7778
	じょいふるはかた	地域生活支援センター	〒594-0023 和泉市伯太町 1-13-50-401	0725-58-7512
	ミネルヴァあべの	特別養護老人ホーム	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-4-27	06-6629-1110

編集後記

いつの間にか吐く息が白くなる頃となり、温かい鍋が恋しい季節となってまいりました。

労働力人口の低下や、福祉におけるイメージの影響なのか、福祉を志す学生の数は減少してきており、福祉の現場では人材確保や育成が大きな課題となっています。当法人においても理事長の挨拶でご覧の通り、人材確保が急務となっていますが、受け身に回らず、ラジオ放送や外国人労働者の受け入れなど、発想豊かに人材確保に奔走しています。

今後も変わらず利用者さんのサービスの質の向上に努め、読者の皆さんに各施設や福祉の仕事の魅力を伝えていけるよう努力していきます。

編集委員長 五百蔵 敏之

編集委員 橋本 進（救護施設 平和寮）

一丸 昌弘（福祉型障害児入所施設 平和寮）

福田 綾美（太平）

川端悠太・竹本 祥子（ふるうむ此花）

松浦 絹枝（IL伯太）

吉岡 裕幸（さつき園・まつのき園）

鈴木 友也（アテナ平和）

中川 友紀・田所 梓（たんぼぼ園）

名合 奈巳・平野 穂崇（各駅停車）

伊藤 敦子（じょいふるはかた）

田中 大樹（ミネルヴァあべの）

好評につき

第9回 今回のテーマは…

わたしの夢

@救護施設 平和寮



私は、母を尊敬しています。なので、母と同じ介護職に就きたいと考えています。そして、人の役に立つことが夢です。

@ぶるうむ此花



わたしの夢は保育士かトリマーになることです。子どもと一緒に遊ぶのも大好きだし、犬や猫も可愛くカットしてあげたいです。

@IL 伯太



スクエアの仕事を何時までも元気で続けたい。弟の家族に会いたい。甥っ子のおこづかいをあげたい。

@さつき・まつのき園

仕事のやりがいや責任感をより感じるために就労Aにチャレンジしてみたい。お金を貯めて、家族で旅行をしたい。美味しいものを食べたい。



@ミネルヴァあべの



おいしいものをお腹いっぱい食べたい!

@じよいふるはかた



いつか飛行機に乗って、温泉旅行に行きたいな。

@たんぽぽ園



大好きな本とゲームがいっぱいのお店屋さんを開きたい!

@各駅停車



スイーツ作りが大好きで、デコレーション等、楽しんで取り組まれています。夢は一人でケーキを作れるようになる事です。

@児童 平和寮

僕の夢は地下鉄の運転士になりたい!なぜなら電車の色やマークなどが好きだから。たくさん勉強して、速度や時間を守っていけるような運転士になりたい。また新しい車両を作ってみたい。



@アテナ平和

いちごのケーキとチョコレートケーキをおなかいっぱい食べたい。アイスコーヒーも一緒に最高。



@太平

「高野山にいきたい」それが行きたい場所であり、私の夢。



応募して
プレゼントを
ゲットしよう!



グッズ3点セット
・メモ帳・ボールペン
・クリアファイル

次回のテーマは
「わたしの好きな芸能人」です。

掲載希望の方は、
各施設の叡知恵編集委員までお声かけください。
掲載されると今なら、グッズをプレゼント!

